

「長野五輪から 25 年」 25 年を経ての、私たちの変化は？



邦楽部 頑張ってます！



ヒップホップ男女混成部門ラージ編成 全国大会 3 位！



1998 年 2 月 7 日 長野五輪開会式
「最も赤道に近い冬季五輪」でした

令和 5 年も気づけばもう 2 月中旬に差しかかるころとなりました。1 月下旬の、街が凍り付いたあの記録的な寒波が一変、差し込む日差しは春の気配すら感じる陽気となっています。ニュースでは小彼岸桜の開花が報道されるなど、いよいよ「春の到来」に向けて季節も準備を始めています。**1998 年 2 月 7 日、長野五輪が開幕しました。**私はその日、オリンピックスタジアムで「第九」を演奏するため会場で開会式を迎えました。当時のあの歓声や興奮の景色、寒空の中カイロと防寒具に身を包みながらも全世界と繋がった熱気を帯びた会場の空気感が思い出されます。平和を祈り、スポーツの振興を長野の地から発信したあの記憶から 25 年、**開会式で選手宣誓をしたのは現長野市長の荻原健司さん。**その意味では長野が育んだ精神は継承されているでしょうか。レガシーを継承することはとても重要でとても難しいと実感します。2018 年に開催された信州総文祭も長野の地から文化の継承を声高らかに発信し、そしてコロナ・途絶えてしまった文化継承の灯の復活に、高文連事務局校である本校が動く時がきています。長野五輪で得た感動、総文祭で得た全国の文化活動に熱き想いを馳せる者たち、同じように、思いを継承していく責務を痛感するこの頃です。さて学校内では、3 年生は進路実現のための熱い日々を送っており共通テストでの頑張った成果が報告されてきています。1, 2 年生は最後の定期テストに向け残り 2 週間ほど、1 年間のまとめの日々となっています。生徒会は予餞会に向け心を込めて準備開始。運動部も寒い中一生懸命頑張っています。またこの冬に行われたクラブの大会でも、少人数でも頑張った成果が表れています。邦楽部は現在部員 1 名。地元の琴光堂和楽器店さんのご協力により講師派遣事業を利用し、先生と一緒に演奏する機会にも恵まれホールでの演奏が叶いました。頑張る高校生を地域で応援する、これもレガシー継承の大事な視点と感じています。

第 35 回管楽器個人重奏コンテスト長野県大会

金賞: 打楽器五重奏 フルート 室橋さん

中日本大会(滋賀県: 3 月 26 日)出場決定！！